



2024年 栽培日記

JA滋賀蒲生町



Vol.5 田植え編

5月から、ハウスで育った苗を生産者の方々に
お渡しさせていただきました。

また、蒲生地区の小学校では田植え教室が行われました。

【撮影日：2024年5月9、10、14日】

田植え前には、代掻きをします。

しろか 代掻きとは

田起こし後に田んぼに水を張り、土を細かく碎いて
田んぼの表面を平らにする作業です。

田んぼに水が張られると蒲生地域の風景も一変します。

代掻きが終われば、いよいよ田植えが始まり
ます。GW中はおおむね天候にも恵まれ、順
調に田植えが進んでいる様子です。雨の日の
田植え作業は、稲苗が傷んだり、田植え機の
故障等の原因となるので、この時期の天気予報
には十分に注意して作業しなければいけません！

代掻き後の 田んぼの様子



生産者の方々に
お渡しする苗箱は
左のようにトラック
の棚に積み込まれ、
引取場所まで運ば
れます。

小学校の田植え教室

食農教育の一環として毎年行われる田植え教室では、
JA職員や地域のボランティアの方々が小学生に田植え
の仕方を教え、実際に手で苗を植える体験をしてもらって
います。

今年も天候に恵まれ、管内の3小学校全てで開催する
ことができました。子どもたちもめったにない田んぼの中
に入る体験ができて楽しそうでした。

秋には稲刈り体験を予定しています。

田植え後の 田んぼの様子



田植え教室 の様子



田植え機での 田植え見学

